

# 特記仕様書

**I 工事概要**

1. 工事場所 県 市 町 丁目 番地 号

2. 敷地面積 \_\_\_\_\_ m

3. 工事項目【例】

(1) (建物名1) 構造、規模、面積など	新築1棟
(2) (建物名2) 構造、規模、面積など	新築1棟
(3) (付属棟) 構造、規模、面積など	増築1棟
(4) (工作物)	新設一式
(5) (樹木)	新植一式

**II 工事仕様**

共通仕様

1. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共住宅建設工事共通仕様書 建築編 (令和7年度版)」(以下、「公住仕 建築編」という。)による。

2. 特記仕様書の適用は次による。  
 (1) 項目は、○印の付いたものを適用する。  
 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。  
 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを用いる。  
 ○印が複数付いた場合は、共に適用する。  
 (3) 特記事項に記載の ( ) 内の表示番号は、「公住仕 建築編」の該当項目、当該図面又は当該表を示す。  
 (4) 特記事項の「機材の品質・性能基準」は、公共住宅建設工事機材の品質・性能基準(公共住宅事業者等連絡協議会)を示す。

章	項目	特記事項
1. 一般事項	1. 一般事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合は、監督職員に報告の上、指示に従うこと。</li> <li>工事受注者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。</li> </ul>
	2. 設計図書等の取り扱い (1.1.1)(1.1.6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本工事は工事請負契約約款に基き、施工する。</li> <li>設計図書相互に相違がある場合の優先順位は次による。                             <ol style="list-style-type: none"> <li>質問回答書及び追加説明書</li> <li>現場説明書</li> <li>特記仕様書</li> <li>図面</li> <li>公住仕 建築編(令和7年度版)</li> <li>公共住宅建設工事機材の品質・性能基準(令和7年度版)</li> </ol> </li> </ul> <p>疑義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本工事の設計図書に関する疑義は工事契約前に質問回答書により確認するものとする。</li> <li>本工事施工中に生じた疑義は、工事前に質問回答書に準ずる記録書として作成する。</li> <li>設計図書に明示がない事項でも、外観上、構造上、設備上、当然必要と認められるものは、監督職員の指示に従い請負金額の範囲内において施工するものとする。</li> </ul>
	3. 工事実績情報システム(コリンズ)への登録 (1.1.4)	登録 する
	4. 書面の書式及び取扱い (1.1.5)	情報共有システムの適用及び機能要件 ・適用する 機能要件 ( 現場説明書による )
	5. 関係法令等の遵守 (1.1.13)	法令等の適用区分 建築基準法に基づく風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧力 風速 ( $V_0 = \text{m/s}$ ) 地表面粗度区分 ( I ・ II ・ III ・ IV ) ・積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域別表 ( )

1. 各種共通事項	6. 遠隔臨場の実施 (1.1.14)	遠隔臨場の適用及び実施内容 ・適用する 実施内容 ( 現場説明書による )																																																																																									
	7. 実施工程表 (1.2.1)	概成工期 ・有り ( 現場説明書による ) ・無し																																																																																									
	8. 工事の記録等 (1.2.4)	報告に用いる書式等 ・現場説明書による																																																																																									
	9. 電気保安技術者 (1.3.3)	配置 する																																																																																									
	10. 施工条件 (1.3.5)	公住仕1.3.5(1)以外の施工条件 ・現場説明書による																																																																																									
	11. 発生材の処理等 (1.3.11)	処理等 ・発注者に引渡しを要するもの ・現場説明書による  ・特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法 ・現場説明書による  ・工事現場において再利用及び再資源化を図るもの ・現場説明書による																																																																																									
	12. 材料の品質等 (1.4.2)	本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとする。  特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。																																																																																									
	13. 技能士 (1.5.2)	適用 適用する技能検定の職種及び作業の種別は下表による																																																																																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>適用工事種類</th> <th>職種</th> <th>技能検定の作業の種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設工事</td> <td>とび</td> <td>・とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>鉄筋施工</td> <td>・鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート工事</td> <td>型枠施工</td> <td>・型枠工事作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧送施工</td> <td>・コンクリート圧送工事作業</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>鉄工</td> <td>・構造物鉄工作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリートブロックALCパネル及び押出成形セメント板工事</td> <td>ブロック建築</td> <td>・コンクリートブロック工事作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">防水工事</td> <td rowspan="12">防水施工</td> <td>・エーデルシーパネル施工</td> </tr> <tr> <td>・アスファルト防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・アクリルゴム系塗膜防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・合成ゴムシート防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・塩化ビニルシート防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・セメント系防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・シーリング防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・改質アスファルトシート</td> </tr> <tr> <td>・トーチ工法防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・改質アスファルトシート</td> </tr> <tr> <td>・常温粘着工法防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・FRP防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>石材施工</td> <td>・石張り作業</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>タイル張り</td> <td>・タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>建築大工</td> <td>・大工工事作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋根及びとい工事</td> <td>建築板金</td> <td>・内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>内装仕上げ施工</td> <td>・鋼製下地工事作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">金属工事</td> <td>建築板金</td> <td>・内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>左官</td> <td>・左官作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">左官工事</td> <td>サッシ施工</td> <td>・ビル用サッシ施工作業</td> </tr> <tr> <td>ガラス施工</td> <td>・ガラス工事作業</td> </tr> <tr> <td>自動ドア施工</td> <td>・自動ドア施工作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">建具工事</td> <td>カーテンウォール施工</td> <td>・金属製カーテンウォール工事作業</td> </tr> <tr> <td>サッシ施工</td> <td>・ビル用サッシ施工作業</td> </tr> <tr> <td>ガラス施工</td> <td>・ガラス工事作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">塗装工事</td> <td>塗装</td> <td>・建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">内装工事</td> <td>内装仕上げ施工</td> <td>・プラスチック系床仕上げ工事作業</td> </tr> <tr> <td>カーペット系床仕上げ工事作業</td> </tr> <tr> <td>木質系床仕上げ工事作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">排水工事</td> <td>表装</td> <td>・壁装作業</td> </tr> <tr> <td>配管</td> <td>・建築配管作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">舗装工事</td> <td rowspan="2">路面標示施工</td> <td>・溶融ペイントハンドマーカ</td> </tr> <tr> <td>・工事作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補装工事</td> <td rowspan="2">造園</td> <td>・加熱ペイントマシンマーカ</td> </tr> <tr> <td>・工事作業</td> </tr> </tbody> </table>	適用工事種類	職種	技能検定の作業の種別	仮設工事	とび	・とび作業	鉄筋工事	鉄筋施工	・鉄筋組立作業	コンクリート工事	型枠施工	・型枠工事作業	コンクリート圧送施工	・コンクリート圧送工事作業	鉄骨工事	鉄工	・構造物鉄工作業	コンクリートブロックALCパネル及び押出成形セメント板工事	ブロック建築	・コンクリートブロック工事作業	防水工事	防水施工	・エーデルシーパネル施工	・アスファルト防水工事作業	・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業	・アクリルゴム系塗膜防水工事作業	・合成ゴムシート防水工事作業	・塩化ビニルシート防水工事作業	・セメント系防水工事作業	・シーリング防水工事作業	・改質アスファルトシート	・トーチ工法防水工事作業	・改質アスファルトシート	・常温粘着工法防水工事作業	・FRP防水工事作業	石工事	石材施工	・石張り作業	タイル工事	タイル張り	・タイル張り作業	木工事	建築大工	・大工工事作業	屋根及びとい工事	建築板金	・内外装板金作業	内装仕上げ施工	・鋼製下地工事作業	金属工事	建築板金	・内外装板金作業	左官	・左官作業	左官工事	サッシ施工	・ビル用サッシ施工作業	ガラス施工	・ガラス工事作業	自動ドア施工	・自動ドア施工作業	建具工事	カーテンウォール施工	・金属製カーテンウォール工事作業	サッシ施工	・ビル用サッシ施工作業	ガラス施工	・ガラス工事作業	塗装工事	塗装	・建築塗装作業	内装工事	内装仕上げ施工	・プラスチック系床仕上げ工事作業	カーペット系床仕上げ工事作業	木質系床仕上げ工事作業	排水工事	表装	・壁装作業	配管	・建築配管作業	舗装工事	路面標示施工	・溶融ペイントハンドマーカ	・工事作業	補装工事	造園	・加熱ペイントマシンマーカ	・工事作業
	適用工事種類	職種	技能検定の作業の種別																																																																																								
	仮設工事	とび	・とび作業																																																																																								
	鉄筋工事	鉄筋施工	・鉄筋組立作業																																																																																								
	コンクリート工事	型枠施工	・型枠工事作業																																																																																								
コンクリート圧送施工		・コンクリート圧送工事作業																																																																																									
鉄骨工事	鉄工	・構造物鉄工作業																																																																																									
コンクリートブロックALCパネル及び押出成形セメント板工事	ブロック建築	・コンクリートブロック工事作業																																																																																									
防水工事	防水施工	・エーデルシーパネル施工																																																																																									
		・アスファルト防水工事作業																																																																																									
		・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業																																																																																									
		・アクリルゴム系塗膜防水工事作業																																																																																									
		・合成ゴムシート防水工事作業																																																																																									
		・塩化ビニルシート防水工事作業																																																																																									
		・セメント系防水工事作業																																																																																									
		・シーリング防水工事作業																																																																																									
		・改質アスファルトシート																																																																																									
		・トーチ工法防水工事作業																																																																																									
		・改質アスファルトシート																																																																																									
		・常温粘着工法防水工事作業																																																																																									
・FRP防水工事作業																																																																																											
石工事	石材施工	・石張り作業																																																																																									
タイル工事	タイル張り	・タイル張り作業																																																																																									
木工事	建築大工	・大工工事作業																																																																																									
屋根及びとい工事	建築板金	・内外装板金作業																																																																																									
	内装仕上げ施工	・鋼製下地工事作業																																																																																									
金属工事	建築板金	・内外装板金作業																																																																																									
	左官	・左官作業																																																																																									
左官工事	サッシ施工	・ビル用サッシ施工作業																																																																																									
	ガラス施工	・ガラス工事作業																																																																																									
	自動ドア施工	・自動ドア施工作業																																																																																									
建具工事	カーテンウォール施工	・金属製カーテンウォール工事作業																																																																																									
	サッシ施工	・ビル用サッシ施工作業																																																																																									
	ガラス施工	・ガラス工事作業																																																																																									
塗装工事	塗装	・建築塗装作業																																																																																									
	内装工事	内装仕上げ施工	・プラスチック系床仕上げ工事作業																																																																																								
カーペット系床仕上げ工事作業																																																																																											
木質系床仕上げ工事作業																																																																																											
排水工事	表装	・壁装作業																																																																																									
	配管	・建築配管作業																																																																																									
舗装工事	路面標示施工	・溶融ペイントハンドマーカ																																																																																									
		・工事作業																																																																																									
補装工事	造園	・加熱ペイントマシンマーカ																																																																																									
		・工事作業																																																																																									

1. 各種共通事項	14. 施工の検査等 (1.5.5)	見本施工の実施 ・する(適用箇所・現場説明書による) ・しない
	15. 総合試運転調整 (1.5.7)	関連工事等との総合試運転調整 ・行う(適用箇所・現場説明書による)
	16. 化学物質の濃度測定 (1.5.10)	濃度測定の実施 ・適用する 測定時期 現場説明書による  測定対象化学物質 ・ホルムアルデヒド ・トルエン ・キシレン ・エチルベンゼン ・ステレン  測定方法 ・パッシブ型採取機器による  測定対象室及び測定箇所 ・現場説明書による
	17. 技術検査 (1.6.2)	中間技術検査の実施 ・実施回数 ( ) 回 ・実施する段階 ( )
	18. 完成時の提出図書 (1.7.1~1.7.3)	提出図書 ※公住仕1.7.2及び1.7.3による
	19. 完成図 (1.7.2)(表1.7.1)	種類、記入内容等 ※公住仕 表1.7.1による 提出部数 ( ) 部 提出仕様 ( 紙ベース ・電子データ )
	20. 保全に関する資料 (1.7.3)	作成等 提出部数 ( ) 部 提出仕様 ( 紙ベース ・電子データ )
	21. 完成写真	工事完成時に以下の完成写真を撮影し、監督職員に提出する。 撮影箇所 ( ) 撮影仕様 ( ) 提出仕様 ( )
	22. 設計GL	・図示
	23. 材料の検査に伴う試験 (1.4.5)	試験機関 ・公的試験所 ・JISマーク表示認証を取得した製品を製造する工場 ・ISO9000sに基づく品質システムの審査登録を受けた試験所 ・その他の試験所 ( 製造者の自社試験所 )
	24. 特別な材料の工法	「公住仕 建築編」に記載されていない特別な材料の使用は監督職員と協議し、その工法は、当該製品の指定工法とする。
	25. 施工の立会い等 (1.5.8)	「公住仕 建築編」に定めがあるもの以外で、次に示す工事段階及び事項については監督職員の確認を受ける。  1. 工事工程表  2. 工事仮設計画書及び施工計画書 本工事の仮設・施工方法等に関する計画は、設計図書に特別定めない限り受注者の責任において定めるものとする。  3. 製作工程表 施工図、原寸図、部品製作図等は製作前に作図期間、チェックバック期間、承認日を記載した製作工程表を作成する。  4. 施工図、原寸図 施工に必要な施工図、原寸図、部品製作図等は停滞なく作成する。  5. 総合図 (1). 工事の着手に先立ち、平面詳細図、総合プロット図(外構プロット図)天井伏図を作成する。 (2). 総合図は、建築、設備等本工事及び、別途発注工事の情報をすべて盛り込みこれらの調整を行う。 (3). 総合図は、必要に応じて展開図、詳細図等で補足する。



6. コンクリート工事	1. コンクリートの種類 (6.2.1) (表6.2.1)	コンクリートの種類 ※I類 (JIS A 5308への適合を承認されたコンクリート) ・II類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)	6. コンクリート工事	9. 型枠 (6.8.2)	せき板の材料 ※公仕6.8.2(1)(7)、(4)による ・合板 (厚さ ※12mm ) ・ ・断熱材を兼用した型枠 適用箇所 図示 ・MCR工法用シート 適用箇所 図示	7. 鉄骨工事	1. 鉄骨製作工場 (7.1.3)	鉄骨製作工場の加工能力 ・国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨工場又は同等以上の能力のある工場 ( )グレード以上 ・監督職員の承諾する製作工場	7. 鉄骨工事	11. 柱底均しモルタル (7.2.9) (表7.2.5)	調合等 ・公仕7.2.9(1)によるモルタル ・無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料、調合等 ※公仕7.2.9(2)による
	(6.2.1~6.2.4) (表6.2.2)	・普通コンクリート 設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )		スランブ(cm)	適用箇所		・ ※15又は18 基礎、基礎梁、土間スラブ ・ ※18 柱、梁、スラブ、壁	2. 施工管理技術者 (7.1.3)(7.1.4)		鉄骨製作工場における施工管理技術者 適用する	12. 鉄骨の仮組 (7.3.10)
(6.2.1)(6.10.2)	・軽量コンクリート		(6.8.4)	型枠の最小存置期間 ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 ( )	スリーブの材種・規格等 図示	3. 鋼材 (7.2.1)	種類等 種類の記号 適用箇所(主要な部分) 規格番号 ・JISによる ・JISによる ・JISによる ・JISによる ・JISによる ・JISによる	13. 溶接作業を行う技能資格者 (7.6.3)	技量付加試験 行う 行わない 試験の要領 図示		
(6.2.1)	・建築基準法第37条第二号の規定に基づき認定を受けたコンクリート適用箇所 ( )		10. 軽量コンクリート (6.10.1)(6.10.2) (表6.10.1)	適用箇所 図示 種類 1種 2種 気乾単位容積質量 ( ) t/m スランブ ※21cm		4. 高力ボルト (7.2.2)	高力ボルトの種類 ・トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト ・建築基準法に基づき認定を受けた高力ボルト	14. 溶接接合 (7.6.4)(7.6.7)	開先の形状 図示 鋼製エンドタブを切断する箇所及び切断範囲 図示 切断面の仕上げ ※公仕7.6.7(1)(b)(2)による 低応力高サイクル疲労を受ける部位 図示 スカラップの形状 図示		
(6.2.5) (表6.2.4)	合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上げ 種類 適用箇所 ・A種 図示 ・B種 図示 ・C種 図示		11. 寒中コンクリート (6.11.1)(6.11.2)	適用期間 図示 構造体強度補正值(S) 公仕6.11.2(3)(7)による 積算温度を基に定める ( )		5. 普通ボルト (7.2.3)	ボルトの寸法 ねじの呼び 図示	15. 溶接部の試験 (7.6.12)	溶接部の外観試験 平成12年建設省告示1464号第二号に関する試験 試験の方法等 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル (鉄骨製作管理技術者登録機構)」3.5.2 受入検査による。 ※抜き取り検査② 抜き取り検査①		
(6.2.5) (表6.2.5)	コンクリートの仕上げの平坦さ 種類 適用箇所 ・a種 図示 ・b種 図示 ・c種 図示		12. 暑中コンクリート (6.12.2)	スランブ ※21cm 構造体強度補正值(S) ※公仕 表6.12.1による		6. アンカーボルト (7.2.4)	種類 ・構造用アンカーボルト ・ABR400 ・ABR490 ・建方用アンカーボルト ・SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※公仕 表7.2.3による	16. 錆止め塗装 (7.8.2)	完全溶込み部の超音波探傷試験 ・適用する 適用しない 工場溶接の場合 AOQL(%) ※レベルII レベルI 節 全て 検査水準 ※第6水準		
(15.1.7)	せき板取外し後の補修材料 初期補修用プレミックスポリマーセメントペースト及び 初期補修用プレミックスポリマーセメントモルタル ※機材の品質・性能基準 その他 ( )		13. マスコンクリート (6.13.1)	適用箇所 図示		7. 溶接材料 (7.2.5)	溶接材料 ※公仕7.2.5(1)、(2)による 図示	17. 耐火被覆 (7.9.2~7.9.8)	種類、材料、工法等 種類 材料・工法 性能(耐火時間) 適用箇所(部位・部分) ・耐火材吹付け ・耐火材巻き付け ・耐火板張り ・耐火材巻付け ・ラス張りモルタル塗り ・耐火塗料		
(6.3.1)	3. セメント (6.3.1)	種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種 又はフライアッシュセメントA種 適用箇所 (※下記以外全て ) ・高炉セメントB種 適用箇所 ( ) ・フライアッシュセメントB種 適用箇所 ( ) ・普通エコセメント 適用箇所 ( )	14. 無筋コンクリート (6.14.1)	コンクリートの種類 ※普通コンクリート 設計基準強度 ※18(N/mm <sup>2</sup> ) スランブ ※15cm又は18cm 適用箇所 公仕6.14.1(4)による 図示 ・公仕 表6.2.1以外のコンクリートを用いる場合 ( )	混和材料 ・混和剤 混和剤の種類 ※公仕6.13.2(2)(7)による ・混和材 混和材の種類 ※公仕6.13.2(2)(4)による	8. ターンバックル (7.2.6)	種類 建築用ターンバックルボルト ※羽子板ボルト 建築用ターンバックル鋼 ※割枠式 ねじの呼び等 図示	18. アンカーボルトの設置等 (7.10.3)	構造用アンカーボルトの形状及び寸法 図示 構造用アンカーボルトの保持及び埋込み ※適切な鋼製アンカーフレーム等を設置して固定する方法 図示		
(6.3.1)	4. 骨材 (6.3.1)	フェロニッケルスラグ骨材、鋼スラグ細骨材及び電気炉酸化スラグ骨材 ・使用する 適用箇所 ( ) ・使用しない	15. 流動化コンクリート (6.15.1)	適用箇所 図示 空気量 ※4.5%	スランブ ※15cm 構造体強度補正值(S) ※公仕 表6.13.1による	9. 床構造用のデッキプレート (7.2.7)	材質、形状及び寸法 種別 適用箇所 材質・形状・寸法 備考 ・デッキプレート単独の構法 ・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法	(表7.10.1)	建方用アンカーボルトの保持及び埋込み方法 種別 種別 A種 B種		
(6.3.1)	5. 混和材料 (6.3.1)	再生骨材H (普通エコセメントを使用するコンクリート) ・使用する 適用箇所 ( ) ・使用しない	16. 高流動コンクリート (6.16.1)	適用箇所(部位、部材) 図示 材料及び調合 スランブフロー 図示 空気量 ※4.5% 単位粗骨材かさ容積 0.500m <sup>3</sup> /m <sup>3</sup> 以上	アルカリシリカ反応性による区分 ※A B	10. スタッド (7.2.8)	種類等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所 ・16 ・19 ・22	(表7.10.2)	柱均しモルタルの厚さ及び工法の種別 厚さ mm 種別 ※A種		
(6.3.2)	6. コンクリートの調合 (6.3.2)	調合管理強度 構造体強度補正值(S) ※公仕 表6.3.2による	17. 高強度コンクリート (6.17.1)	品質 設計基準強度(Fc)80N/mm <sup>2</sup> を超える高強度コンクリートの品質 ※図示 図示				19. 軽量形鋼構造 (7.11.2)	ボルトの接合方法 ・普通ボルト接合		
(6.6.4)	7. 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6.6.4)	打継ぎの位置 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 図示 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 図示	(6.17.2)	水セメント比 図示 単位セメント量 図示 適用箇所 図示							
(6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)(6.8.1)	(6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)(6.8.1)	目地の寸法 ※公仕9.9.3(1)(7)による 図示 ひび割れ誘発目地の位置、形状 図示	(6.17.3)	材料 混和剤 Fc(N/mm <sup>2</sup> ) スランブ又はスランブフロー 適用箇所 ※高性能AE減水剤 48を超え60以下 スランブフロー60以下 ・ 60を超え80以下 スランブフロー60~65 ・ スランブフロー60~65							
(6.8.1)	8. 打増し厚さ (打直し仕上げ部) (6.8.1)	打増し厚さ ・打直し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) ・20mm ・打直し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る) ・10mm 20mm 打増し範囲 図示									

8. コンクリートブロック・ALCパネル及び押出成形セメント板工	1. 補強コンクリートブロック造 (8.2.2)	材料 適用箇所 ブロックの種類 断面形状及び 圧縮強さによる区分 正味厚さ (mm) モジュール 呼び寸法 (mm) 長さ 高さ 備考	(8.2.3) モルタルの調合 (容積比) ※ブロックの区分がA (08)、B (12)、C (18)の場合で、目地幅が10mm程度の場合 ※公仕仕 表8.2.1による	(8.2.5) 各部の配筋 (8.2.7) 目地仕上げ (8.2.8) まぐさを受ける開口部両側のブロックのモルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲	9. 防水工事	1. アスファルト防水 (9.2.2) (9.2.3) (表9.2.3~表9.2.6)	屋根保護防水 防水層の種類				9. 防水工事	2. 改質アスファルトシート防水 (9.3.2) (9.3.3) (表9.3.1~表9.3.3)	防水層の種類				9. 防水工事	4. ウレタンゴム系及びゴムアスファルト系塗膜防水 (9.5.3) (表9.5.1) (表9.5.2)	防水層の種類			
							種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート			種別	施工箇所	断熱材	防湿用シート			仕上塗料 種類 使用量	種別	施工箇所	断熱材
2. コンクリートブロック積壁及び塀 (表8.3.1)	(8.3.2) 図示	材料 適用箇所 ブロックの種類 断面形状及び 圧縮強さによる区分 正味厚さ (mm) モジュール 呼び寸法 (mm) 長さ 高さ 備考	※空洞ブロックC (16)	適用箇所が塀の場合で化粧有りのブロック 適用する (適用箇所: ) 適用しない	(9.2.2) 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※公仕仕 表9.2.3及び表9.2.4による JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 R種 N種 厚さ mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※公仕仕 表9.2.5及び表9.2.6による JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 R種 N種 厚さ mm以上 押え金物の材質及び形状寸法 ※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度	(9.2.2) (9.2.3) (表9.2.4) (表9.2.6)	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ				(9.3.2) 改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※公仕仕 表9.3.1から表9.3.3による 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※公仕仕 表9.3.2及び表9.3.3による 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※公仕仕 表9.3.2及び表9.3.3による 押え金物の材質及び形状寸法 ※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度	防水層の種類				(9.5.3) ウレタンゴム系塗膜防水X-1 (絶縁工法)の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※主材料の製造所の仕様による 設置数量 ※主材料の製造所の仕様による						
							種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート		種別	施工箇所	断熱材	防湿用シート		仕上塗料 種類 使用量	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料 種類 使用量	保護層
3. ALCパネル (8.4.2)~(8.4.5) (表8.4.2~表8.4.4)	(8.4.2) パネル相互の接合部に挿入する耐火目地材 (8.4.3) 外壁パネル構法 耐火性能 ( ) 耐震性能 ( ) パネル幅の最小限度 300mm (図示) パネルの短辺小口相互の接合部、出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の伸縮目地の目地幅 ※10~20mm 図示 伸縮目地への耐火目地材の充填 適用する 適用しない (8.4.3) (8.4.4) 間仕切壁パネル構法 耐火性能 ( ) 耐震性能 ( ) パネル幅の最小限度 300mm (図示) パネルの短辺小口相互の接合部、出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の伸縮目地の目地幅 ※10~20mm 図示 伸縮目地への耐火目地材の充填 適用する 適用しない (8.4.3) (8.4.5) 屋根及び床パネル構法 耐火性能 ( ) 耐震性能 ( ) パネル幅の最小限度 300mm (図示)	用途 形状 表面加工 (N/m <sup>2</sup> ) 単位荷重 厚さ (mm) 幅及び長さ (mm) 耐火性能 (時間) 構法の種別	耐火性能 (時間) 有 (1) 有 (1) 有 (0.5) 有 ( ) 無	耐火性能 (時間) 有 (1) 有 (0.5) 有 ( ) 無	(9.2.2) 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※公仕仕 表9.2.8による JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 R種 N種 厚さ mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※公仕仕 表9.2.7及び表9.2.8による JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 R種 N種 厚さ mm以上 押え金物の材質及び形状寸法 ※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度	(9.2.3) 絶縁工法及び断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ				(9.3.3) 屋根露出防水絶縁工法、屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※改質アスファルトシートの製造所の指定 設置数量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定	防水層の種類				7. 透湿防水シート、防水テープ及び改質アスファルト防水工事 (9.8.2)	バルコニー手すりの工法 ※公仕仕9.8.3(2)(f)(a)~(e)による 手すり壁に設ける笠木の固定方法、形状及び仕上げ 図示					
							種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート		種別	施工箇所	断熱材	防湿用シート			仕上塗料 種類 使用量	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料 種類 使用量
4. 押出成形セメント板 (ECP) (8.5.2)~(8.5.4) (表8.5.1) (表8.5.2)	(8.5.3) 外壁パネル工法 耐火性能 ( ) 耐震性能 ( ) (8.5.4) 間仕切壁パネル工法 耐火性能 ( ) (8.5.3) (8.5.4) 耐火構造以外の目地及び隙間の処理 ※パネルの製造所の仕様による パネル幅の最小限度 300mm (図示)	パネルの種類 形状 厚さ (mm) 幅 (mm) 工法の種別 耐火性能	600	600	(9.2.2) (9.2.3) (表9.2.9)	(9.2.3) 保護層 設ける (図示) 設けない E-1の工程3を行う場合の部位 ※貯水槽、浴室等の常時水に接する部位	屋内防水 防水層の種類				(9.4.2) ルーフィングシートの種類及び厚さ ※公仕仕 表9.4.1~表9.4.3による 固定金具の材質及び形状 材質 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの 厚さ ※0.4mm以上	屋内防水層の種類				8. シーリング (9.9.2)	材料 種類及び施工箇所 ※下表以外は公仕仕 表9.9.1による ただし、外壁タイル接着張り目地の場合はシーリングは11章に、カーテンウォール目地の場合はシーリングは17章による。					
							種別	施工箇所	種別	施工箇所		種別	施工箇所	種別	施工箇所			種別	施工箇所	種別	施工箇所	種別
(8.5.5) 溝掘り及び開口部の措置 やむを得ず設備開口等を設ける場合のパネルの開口寸法等の限度 図示	パネル相互の目地幅 (mm) 900mm以下の場合 900mmを超える場合 長辺の目地幅 ※10mm以上 ※15mm以上 短辺の目地幅 ※15mm以上 ※15mm以上 出隅及び入隅のパネル接合部の目地幅 ※15mm程度 (シーリング材を充填) 図示	耐火性能 (時間) 有 (1) 有 (1) 有 (0.5) 有 ( ) 無	耐火性能 (時間) 有 (1) 有 (1) 有 (0.5) 有 ( ) 無	耐火性能 (時間) 有 (1) 有 (1) 有 (0.5) 有 ( ) 無	(9.2.4) 施工 防水層の下地のモルタル塗り 適用する (施工範囲 図示) 適用しない 防水層の下地、立上りコンクリート打放し仕上げ ※公仕仕 表6.2.4のB種 絶縁断熱工法のルーフトレイン回り及び立上り周辺の断熱材の張りじまいの位置 図示	(9.2.5) 保護層等の施工 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※80mm以上 床タイル張り ※60mm以上	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ				(9.4.3) 接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様による 設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様による	防水層の種類				9. 防水保証	種類 期間 アスファルト防水 10年 改質アスファルトシート防水 10年 合成高分子系ルーフィングシート防水 10年 ウレタンゴム系塗膜防水 ゴムアスファルト系塗膜防水 ケイ酸質系塗布防水 FRP塗膜防水					
							種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート		種別	施工箇所	断熱材	防湿用シート			仕上塗料 種類 使用量	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料 種類 使用量
												工事名称		縮尺		図面 No						
												図面名称						4				





<p>16. 建具工事</p> <p>1. 防火戸 (16.1.3) ・建具表による 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸について、連動させる装置 ・建具表による</p> <p>2. 見本の製作等 (16.1.4) 建具見本の製作 ・行う(建具符号: ) ・行わない 特殊な建具の仮組 ・行う(建具符号: ) ・行わない</p> <p>3. 防犯建物部品 (16.1.6) ・適用する(適用箇所: ・建具表による ) ・適用しない</p> <p>4. アルミニウム製建具 (16.2.2) 性能値等(建具符号、枠の見込み寸法は建具表による) ※優良住宅部品 (B L 部品) ・機材の品質・性能基準 ・その他 ( )</p> <p>耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級 ・建具表 ・図示 ※外部に面する建具の種類は公仕 表16.2.1、表16.2.2による ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・建具表による ・図示</p> <p>・防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ( ) ・断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ( )</p> <p>(16.2.4) 表面処理 外部に面する建具 種別 ・BB-1種 ・BB-2種 着色 ・標準色 ・特注色</p> <p>(表14.2.1) 屋内の建具 種別 ・BC-1種 ・BC-2種 着色 ・標準色 ・特注色</p> <p>(16.2.3)(16.6.3) ステンレス鋼板の種類 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1</p> <p>(16.2.4)(16.4.4) ステンレス製くつずりの仕上げ ※HL (16.2.4) 結露水の処理方法 ・図示 (16.2.5) 水切り板、ぜん板 ・図示 木下地の内付け建具 ・適用する(道具の製造所の仕様) ・適用しない</p> <p>5. 網戸等 (16.2.3) 防虫網の材料</p> <table border="1" data-bbox="261 871 795 955"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> <tr> <td>・防虫網</td> <td>※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> </tr> </table> <p>6. 樹脂製建具 (16.3.2) 性能値等(建具符号、枠の見込み寸法は建具表による)</p> <p>耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級 ※外部に面する建具の種類は公仕 表16.3.1、表16.3.2による ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・建具表による ・図示</p> <p>・防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ( ・T-1 ・T-2) ・断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級は公仕 表16.3.3による ・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8</p> <p>外部に面する建具 日射熱取得性の等級 ( )</p> <p>(16.3.3) ガラス ※複層ガラス (16.2.4)(16.3.4) ステンレス製くつずりの仕上げ ※HL (16.3.4) 表面色 ・標準色 ・特注色</p> <p>(16.2.5)(16.3.5) 水切り板、ぜん板 ・図示 木下地の内付け建具 ・適用する(建具の製造所の仕様) ・適用しない</p> <p>7. 鋼製建具 (16.4.2) 性能値等(建具符号は建具表による) 玄関ドアの品質及び性能 ※優良住宅部品 (B L 部品) ・機材の品質・性能基準 ・その他 ( ) パイプシャフトドアの品質及び性能 ※機材の品質・性能基準 ・その他 ( )</p> <p>(表16.2.1) ・外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 ・S-5 ・S-6 ・簡易気密型ドアセット ・耐震ドア 面内変形追随性の等級 ( ) ・防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ( ) ・断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ( )</p> <p>(16.4.3)(16.6.3) ステンレス鋼板の種類 ※SUS 304 ・SUS 430J1L又はSUS 443J1</p> <p>(16.4.3) 点検口の類のくつずりの材料 (16.4.4) 鋼板の厚さ(mm) ※公仕 表16.4.2による ステンレス製くつずりの仕上げ ※HL (16.4.6) 標準型鋼製建具の有効内寸法 ・建具表による (表16.4.5)</p>	種類	材質	線径	網目	・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	<p>16. 建具工事</p> <p>8. 鋼製軽量建具 (16.5.2) 性能値等(建具符号は建具表による) ・簡易気密型ドアセット ・耐震ドア 面内変形追随性の等級 ( ) ・防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ( ) ・断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ( )</p> <p>(16.5.3) 鋼板の種類 ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板</p> <p>(16.5.3)(16.6.3) ステンレス鋼板の種類 ※SUS 304、SUS 430J1L又はSUS 443J1 (16.5.3) 召合せ、縦小口包み等の材質 ※鋼板 戸の心材 防音性能を求める場合の充填材 ・グラスウール ・ロックウール</p> <p>(16.5.4) 鋼板の厚さ(mm) ※公仕 表16.5.1による ・図示 (16.2.4)(16.5.4) ステンレス製くつずりの仕上げ ※HL (16.5.6) 標準型鋼製建具の有効内寸法 ・建具表による (表16.4.5)</p> <p>9. ステンレス製建具 (16.6.2) 性能値等(建具符号は建具表による) ・簡易気密型ドアセット ・外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 ・S-5 ・S-6</p> <p>・耐震ドア 面内変形追随性の等級 ( ) ・防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ( ) ・断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ( )</p> <p>(16.6.3) ステンレス鋼板の種類 ※SUS 304、SUS 430J1L又はSUS 443J1</p> <p>(16.6.4) 表面仕上げ ※HL (16.6.4) ステンレス鋼板のくつずりの仕上げ ※HL (16.6.5) ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ</p> <p>10. 木製建具 (16.7.2) 内装ドア及びクロゼットドアの品質及び性能 ※優良住宅部品(B L 部品) ・機材の品質・性能基準 ・その他 ( ) 量産ふすまの品質及び性能 ※機材の品質・性能基準 ・その他 ( )</p> <p>(16.7.2) 建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 ・B種</p> <p>(表16.7.1) 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ (16.7.2) 枠、くつずりの材料 ・建具表による</p> <p>(表16.7.2) ・フラッシュ戸 表面材の合板の種類</p> <table border="1" data-bbox="795 955 1478 1312"> <thead> <tr> <th>合板の種類</th> <th>表面材の品質等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・普通合板</td> <td>接着の程度 ※水掛り箇所1類,その他2類以上 板面の品質 ※広葉樹1等 ( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板</td> <td>接着の程度 ※水掛り箇所1類,その他2類以上 ( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・特殊加工化粧合板</td> <td>接着の程度 ※水掛り箇所1類,その他2類以上 ( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)</td> <td>表裏面の状態による区分( ) 曲げ強さによる区分 ( ) 耐水性による区分 ( ) 難燃性による区分 ( ) ( )</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(16.7.2) 表面材の材料のホルムアルデヒド放散量 ※公仕 表16.7.2(2)(f)(a)による</p> <p>(16.7.3) 表面板の厚さ ※公仕 表16.7.6による (16.7.4) 引戸の定規線 ・召し合せかまち ( ・いんろう付き ・いんろう無し)</p> <p>(16.7.2)(16.7.3) ・かまち戸 かまち樹種 ( ) 鏡板樹種 ( ) (表16.7.7) 見込み寸法 ※36mm ・建具表による</p> <p>(16.7.2~16.7.4) ・ふすま 種別、工法 ・I型 ・II型 (表16.7.3)(表16.7.7) 上張りの種類 ・鳥の子 ・新鳥の子 ・ビニル紙程度 縁仕上 ・塗り縁 ・生地縁(素地) ・生地縁(ウレタンリキヤー塗装) 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による</p> <p>(16.7.2~16.7.4) ・戸ぶすま 表面材の種類、品質等( ) (表16.7.7) 上張りの種類 ・鳥の子 ・新鳥の子 ・ビニル紙程度 見込み寸法 ※30mm ・建具表による</p> <p>・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による</p>	合板の種類	表面材の品質等	備考	・普通合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類,その他2類以上 板面の品質 ※広葉樹1等 ( )		・天然木化粧合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類,その他2類以上 ( )		・特殊加工化粧合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類,その他2類以上 ( )		・ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)	表裏面の状態による区分( ) 曲げ強さによる区分 ( ) 耐水性による区分 ( ) 難燃性による区分 ( ) ( )		<p>16. 建具工事</p> <p>11. 建具用金物 (16.8.2) 各住戸玄関扉用及び勝手口扉用錠前の品質及び性能 ※優良住宅部品 (B L 部品) ・機材の品質・性能基準 ・その他 ( ) 各住戸玄関扉用及び内装扉用ドアクローザーの品質及び性能 ※優良住宅部品 (B L 部品) ・機材の品質・性能基準 ・その他 ( )</p> <p>(16.8.2) 金物の種類・見え掛り部の材質等 (表16.8.1) ※公仕 表16.8.1及び適用(備考欄の特記事項も含め)は、建具表による</p> <p>(16.8.2) 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※公仕 表16.8.2による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※公仕 表16.8.3による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※公仕 表16.8.4による 木製建具に使用する戸車及びレール ※公仕 表16.8.5による</p> <p>(16.8.3) 握り玉、レバーハンドル、押板、クレセントの取付け位置 ・建具表による</p> <p>12. 鍵 (16.8.4) マスターキー ・制作する ・制作しない 各住戸玄関扉用及び勝手口扉の鍵 錠前の種別 ※サムターン付きシリンダー面付箱錠 ・サムターン付きシリンダー形込箱錠</p> <p>タンブラー類の本数 ※6本 鍵の製作本数(扉1箇所につき) ※各室3本1組 コンストラクションキー装置 ・適用する ・適用しない 引違戸、引違い窓の鍵 繰り金物(クレセント等)が鍵付きの場合の鍵違い種類 ※6種類 上記の鍵本数(1住戸につき) ※3本 鍵箱 ※鋼製の既製品</p> <p>13. 自動ドア 閉閉装置 (16.9.2) 性能・機構 戸の開閉方式 ・図示 自動ドア閉閉装置の性能 駆動装置の性能 ※引き戸用駆動装置の場合、公仕 表16.9.1による 防錆 ・適用する ・適用しない</p> <p>・車椅子使用者用便所出入口の引き戸用駆動装置の性能 ※公仕 表16.9.2による 防錆 ・適用する ・適用しない</p> <p>検出装置の性能 ※引き戸用検出装置の性能は公仕 表16.9.3による 防錆 ・適用する ・適用しない</p> <p>(16.9.2) 引き戸用検出装置の種類 (表16.9.4) 種類 ・光線(反射)センサー ・熱線センサー ・音波センサー ・光電センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ ・無線式タッチスイッチ ・光電式タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・車椅子使用者用便所操作スイッチ ・大形(開・閉)押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ ・適用する ・適用しない</p> <p>(16.9.2) 凍結防止装置 ・適用する ・適用しない</p> <p>14. 自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3) 性能 ※公仕 表16.10.1による ・図示</p> <p>15. 重量シャッター (16.11.2) 形式及び機構 シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター</p> <p>(16.11.2) 外壁開口部に設ける重量シャッター 耐風圧強度 ( ) pa 開閉方式の種類 ※電動式(手動併用) ・手動式</p> <p>(16.11.2) 安全装置の設置場所 急降下制御装置又は急降下停止装置の設置箇所 ・図示 障害物感知装置の設置箇所 ・図示 危害防止機構の設置箇所 ・図示 管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない</p> <p>(16.11.3) 材料 スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12 (16.6.3)(16.11.3) ステンレス鋼板の種類 ※SUS 304、SUS 430J1L又はSUS 443J1</p>	<p>16. 建具工事</p> <p>16. 軽量シャッター (16.12.2) 形式及び機構 (表16.12.1) 開閉方式 ※手動式 ・電動式(手動併用) 耐風圧強度 ( ) pa 電動式の場合の安全装置 急降下停止装置 ・設置する ( ・図示 ) ・設置しない 障害物感知装置の設置箇所 ・図示</p> <p>(16.12.3) 材料 スラットの材質 種類 ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※Z06又はF06 ・JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※AZ90</p> <p>(16.12.4) スラットの種類 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形</p> <p>区分・材料</p> <table border="1" data-bbox="2172 451 2855 556"> <thead> <tr> <th>セクション材料による区分</th> <th>風圧力区分(Pa)</th> <th>開閉方式による区分</th> <th>収納形式による区分</th> <th>ガイドレールの材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※スチールタイプ</td> <td>・125</td> <td>※バランス式</td> <td>・スタンダード形</td> <td>※溶融亜鉛</td> </tr> <tr> <td>・アルミニウムタイプ</td> <td>・100</td> <td>・チェーン式</td> <td>・ローヘッド形</td> <td>めっき鋼板</td> </tr> <tr> <td>・ファイバーグラスタイプ</td> <td>・75</td> <td>・電動式</td> <td>・ハイリフト形</td> <td>・ステンレス</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・50</td> <td></td> <td>・パーチカル形</td> <td>鋼板</td> </tr> </tbody> </table> <p>電動式の場合の障害物感知装置の設置箇所 ・図示 ( )</p> <p>18. ガラス (16.14.2) 適用は次によるほか、ガラスの種類、厚さの組合せは建具表及び図示による。 ・フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ・図示(※建具表 )による ・型板ガラスの厚さによる種類 ・図示(※建具表 )による ・網入り板ガラス及び輸入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態、厚さの呼びによる種類 ・図示(※建具表 )による ・合わせガラス 板ガラスの種類、厚さの組合せ、合わせガラスの合計厚さ、特性による種類 ・図示(※建具表 )による ・強化ガラス 形状による種類、板ガラスの種類、厚さの呼びによる種類、特性による種類 ・図示(※建具表 )による ・熱線吸収ガラス 板ガラスの種類、厚さによる種類、性能による種類 ・図示(※建具表 )による ・複層ガラス 板ガラスの種類、厚さの組合せ、複層ガラスの厚さ、断熱性による区分、日射取得性及び日射遮蔽性による区分、封入気体の種類 ・図示(※建具表 )による ・熱線反射ガラス 板ガラスの種類、厚さによる種類、日射遮蔽性による区分 ・図示(※建具表 )による ・倍強度ガラス 板ガラスの種類、厚さの呼びによる種類 ・図示(※建具表 )による</p> <p>(16.14.2)(16.14.3) ガラスの留め材及び溝の大きさ (図16.14.1)</p> <table border="1" data-bbox="2172 1165 2855 1333"> <thead> <tr> <th>建具の種類</th> <th>ガラス留め材</th> <th>ガラス溝の大きさ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>※グレイジングチャンネル ・シーリング材</td> <td>※建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>樹脂製</td> <td>・押線及びグレイジングガスケット</td> <td>※建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び鋼製軽量</td> <td>・シーリング材</td> <td>※建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>・シーリング材</td> <td>※建具の製造所の仕様による</td> </tr> </tbody> </table> <p>(16.14.4) ガラス端部で枠にのみ込まない部分の小口加工 ・建具表による</p> <p>19. ガラスブロック積み (16.14.5) 材料等</p> <table border="1" data-bbox="2172 1417 2855 1585"> <thead> <tr> <th>表面形状</th> <th>呼び寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色調</th> <th>目地幅</th> <th>伸縮調整目地位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">正方形</td> <td>・160×160</td> <td>・95</td> <td>・</td> <td>平積み</td> <td rowspan="2">※6以下ごとに幅10~25mm</td> </tr> <tr> <td>・200×200</td> <td>・95</td> <td>・</td> <td>曲面積み</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">長方形</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※8~15</td> <td rowspan="2">※6以下 ・図示</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>外側</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※15以上</td> <td>内側</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※6以上</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>壁用金属枠及び補強材 ・設ける(形状 ・図示 ) ・設けない 力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304) 寸法 ※径5.5mm 形状 ※はしご形状復筋及び単筋</p> <p>シーリング材の種類 ( ) 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ・図示 形状 ・図示</p> <p>工法 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ・図示 木下地の場合の壁用金属枠のアンカー等の留付け間隔 mm (450mm以下) 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示</p>	セクション材料による区分	風圧力区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料	※スチールタイプ	・125	※バランス式	・スタンダード形	※溶融亜鉛	・アルミニウムタイプ	・100	・チェーン式	・ローヘッド形	めっき鋼板	・ファイバーグラスタイプ	・75	・電動式	・ハイリフト形	・ステンレス		・50		・パーチカル形	鋼板	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)	アルミニウム製	※グレイジングチャンネル ・シーリング材	※建具の製造所の仕様による	樹脂製	・押線及びグレイジングガスケット	※建具の製造所の仕様による	鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による	ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による	表面形状	呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	色調	目地幅	伸縮調整目地位置	正方形	・160×160	・95	・	平積み	※6以下ごとに幅10~25mm	・200×200	・95	・	曲面積み	長方形	・	・	・	※8~15	※6以下 ・図示	・	・	・	外側		・	・	・	※15以上	内側		・	・	・	※6以上	・
種類	材質	線径	網目																																																																																																					
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ																																																																																																					
合板の種類	表面材の品質等	備考																																																																																																						
・普通合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類,その他2類以上 板面の品質 ※広葉樹1等 ( )																																																																																																							
・天然木化粧合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類,その他2類以上 ( )																																																																																																							
・特殊加工化粧合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類,その他2類以上 ( )																																																																																																							
・ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)	表裏面の状態による区分( ) 曲げ強さによる区分 ( ) 耐水性による区分 ( ) 難燃性による区分 ( ) ( )																																																																																																							
セクション材料による区分	風圧力区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料																																																																																																				
※スチールタイプ	・125	※バランス式	・スタンダード形	※溶融亜鉛																																																																																																				
・アルミニウムタイプ	・100	・チェーン式	・ローヘッド形	めっき鋼板																																																																																																				
・ファイバーグラスタイプ	・75	・電動式	・ハイリフト形	・ステンレス																																																																																																				
	・50		・パーチカル形	鋼板																																																																																																				
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)																																																																																																						
アルミニウム製	※グレイジングチャンネル ・シーリング材	※建具の製造所の仕様による																																																																																																						
樹脂製	・押線及びグレイジングガスケット	※建具の製造所の仕様による																																																																																																						
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による																																																																																																						
ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による																																																																																																						
表面形状	呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	色調	目地幅	伸縮調整目地位置																																																																																																			
正方形	・160×160	・95	・	平積み	※6以下ごとに幅10~25mm																																																																																																			
	・200×200	・95	・	曲面積み																																																																																																				
長方形	・	・	・	※8~15	※6以下 ・図示																																																																																																			
	・	・	・	外側																																																																																																				
	・	・	・	※15以上	内側																																																																																																			
	・	・	・	※6以上	・																																																																																																			
		工事名称		縮尺	図面 No																																																																																																			
		図面名称		7																																																																																																				





